



# PCR検査と医療体制の拡充を！

# 検察の私物化NO!! 三権分立・コロナ対策を！

5月21日から3日間、くまがい桂子市議が街頭からコロナ対策問題で、党の政策を訴えました。概要をお伝えします。

◆ ◆ ◆  
新型コロナウイルス問題で私たちの暮らしが大きな影響を受けています。日本共産党は、いのち・暮らしを守り医療を支えるため緊急提案を行い、チラシや「しんぶん赤旗」でお知らせしています。

## コロナ対策緊急アンケート実施中

さらに本日は、皆さんの自宅に、「民報ゆうばり号外」と「コロナ対策緊急アンケート」をお配りしています。

是非、ご協力をお願いいたします。また一人一人に寄り添う立場で、生活相談の窓口を開いています。お困り事はアンケートに記載の電話番号、またはメールアドレスまでご連絡ください。

自営業、フリーランスは？  
家賃・リース代etc. 収入の8割の補償を  
新型コロナ 感染症対策 共産党の提案

## 検査と医療体制の拡充を

緊急事態宣言が全国で解除されました。いま政治がやらなければならぬことは、まず、検査と医療体制の拡充です。

## 医療・介護の現場が深刻

そして、医療機関・介護施設の現場が深刻です。政府が「現場任せ」にしてきたため、感染のリスクと財政危機に襲われています。ほとんどの病院が大幅減収し、コロナ患者の受け入れ病院は、4月だけで平均1億円も減収しています。

# 国民世論と野党の論戦で一人 一律十萬円の特別給付実現！

次の感染拡大に備えるためには、検査数を抜本的に増やすしかありません。経済活動を自由に行うためにも絶対に必要なことです。

## 地域の病院減らし 社会保障を削り 続けた安倍政権

日本共産党は、国がきちんと財政支援を行って、検査体制を増やして、ただちに隔離・治療ができるようにすること、保健所を通さない「検査センター」を道内各地に作るよう、改めて求めます。

社会保障を削り続けてきました。しかし、いのちの問題をお金で語っていいのでしょうか。医療や介護の現場では、日々感染のリスクを背負っているの仕事が続いています。コロナを乗り越えた先には、医療と介護が本当に大切にされる社会を、ともに作ってまいりましょう。

村から郵送される申請書に記入して、ぜひ受け取りましょう。また、持続化給付金は、中小企業だけでなくフリーランスの方も対象です。収入が5割以上減少した場合に給付されます。収入の6割が支払われる休業手当も政府が助成する仕組みが拡充しました。国民が声を上げ続け

## 国民世論と野党の論戦で特別給付金と持続化給付金！

国民世論と野党の論戦によって、「一人一律10万円」の特別給付金が実現、スタートしました。

## 国民全員に収入の8割を消費税は5%減税を！

しかし、緊急事態が解除されても、補償まで「おしまい」になつてはいけません。消費税増税とコロナショックに襲われた今、この程度の給付金では、暮らしも営業も守られませんが、日本共産党は「国民全員に収入の8割

を補償」することで営業と雇用を維持することを求めています。そのうえで、消費税の5%への減税といった、抜本的な決断が必要ではないでしょうか。

## 三権分立を守れ！ 検察の私物化ではなく、コロナ対策を

検察庁法の改悪を、国民の声がストップさせました。

数々の疑惑に手を染めてきた安倍政権が、不正を暴く検察の人事に首を突っ込むなど許されないと、怒りが爆発したので、「三権分立を守れ」「検察の私物化ではなくコロナ対策を」という声が政治を動かした、日本の民主主義の大きな成果です。

政治と国民の暮らしが今ほど直結している時はありません。命と暮らしが真に大切にされる社会、公平で公正な新しい社会へ、ともに手を携えてまいりましょう。

# 待っていた「学校再開」 マスク姿で一斉登校

6月1日、市内では、待ちに待っていた学校が再開し、一斉登校する生徒たちの元気な姿が見られました。



小学校玄関前



中学校玄関手前

くる生徒を教師や通学指導員が出迎えていました。コロナ感染症から予防するため、子どもたちの全員がマスク着用と健康カードを手に、登校していました。中学校や高校では出迎えは見られませんが、通学者はそれぞれ元気な足取りで登校していました。

## くずさんの 夕張歴史散歩 (136)

### 明治維新50／朝鮮植民地支配 ③

ここに「大韓帝国」という国は、完全に消されてしまいました。国家ばかりか、その民族をも抹殺しようとしたのです。1916年には、朝鮮総督府の新庁舎が、朝鮮王朝時代以来の王宮の前面に着工します。あたかも総督府が、朝鮮を制圧したことを象徴しているように。

### 朝鮮総督府の専制政治

明治政府は、すでに併合の三か月も前に「併合後の韓国に對する施政方針」を閣議決定します。それによると、天皇の名において、朝鮮における一切の政務を統轄する絶対の権限を、総督府に与えたのです。総督府は、ただちに政治結社を解散させ（親日の一進会も例外でなかった）集会を禁止し、朝鮮語の新聞・雑誌を廃刊させ、一片の人権も与えませんでした。こうして天皇に直屬する総督府は、司法・行政・立法の三権を事実上握り、専制政治を布いていきます。

### 憲兵警察の配置 「武断政治」

韓国の警察は、併合の直前に総監府警察となり、そのトップは韓国駐留日本軍の憲兵隊司令官・明石元二郎少将が兼任します。この体制は併合後も引き継がれ、地方においても警察機関は憲兵の指揮下に置かれます。そして朝鮮全国のすみずみまで憲兵と巡査を配置し、ことごとく暴力的支配を行います。狙いは、なによりも義兵運動など民族運動や民衆の日常的な抵抗を徹底的に抑圧することでした。また郡や面（日本の村にあたる）の戸籍事務などの一般行政にも関わり、細かく権力を発揮しました。こうして憲兵警察制度を末端まで浸透させ、強力に日常生活を支配しました。



岩淵 友「国会かけある記」  
参議院議員

### 国民の声が政治を動かす

国会内の集会で、紙智子議員とともに、種苗法改定案の審議は行わないように求める署名、ジェンダー平等を求める署名をうけました。広い会議室で、参加者が多くならないように、時間も短めになど、配慮しながらの集会。こうした集まりは久しぶりのことです。お互いに言いたいことがたくさんあって、つい話しすぎてしまいます。この間、インターネットを使った会議や集会に参加してきましたが、顔をあわせて思いを交流しあうのはやっぱりいいと思います。

食健連・農民連のみなさんからうけた種苗法の署名は、2万人を超えて全国から集まりました。農家に認められてきた自家増殖の禁止が盛り込まれており、私のところにも「種苗法の審議はいつから行われるのか、果樹農家が怒っている」といった声が寄せられ、ツイッターなどで中止を求める世論が広がり、審議入りを許さない力になっています。今国会での審議を断念させ、廃案に追い込むために頑張りたい。

ジェンダー平等を求める署名は、婦団連のみなさんが毎年続けてきた署名です。昨年よりも多くの署名が集まり、16万人分を超えました。積み重ねられてきた運動が力となってジェンダー平等の実現を求める声はいまや大きな世論になっています。

検察庁法改定案の強行を断念させ、コロナ対策を前進させるなど、国民の声が政治を動かし、切り開いてきました。引き続き、みなさんと力をあわせ頑張ります。